

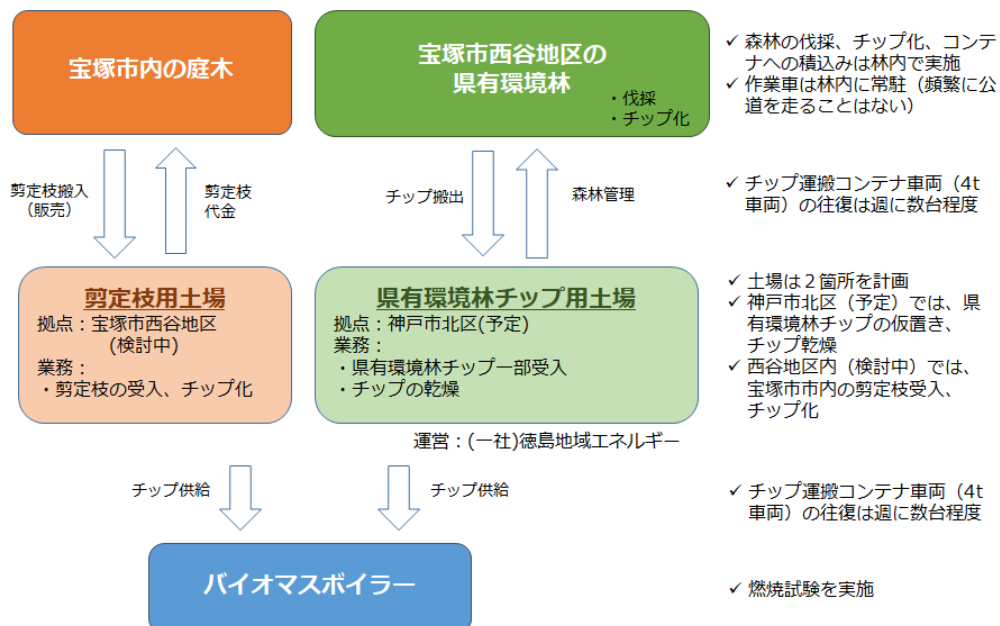
「北摂里山地域循環共生圏」木質バイオマス有効利用事業 説明会の概要について

兵庫県では、北摂里山地域循環圏構想として、県有環境林の整備をしつつ、その整備によって出る間伐材をバイオマス燃料として有効活用するモデル事業について検討を進めており、このたび、3月26日に説明会を開催させていただきましたので、その概要についてご報告します。

- 1 日 時 令和4年3月26日（土）
【午前の部】10:00～11:45、【午後の部】14:00～15:15
- 2 場 所 西谷会館
- 3 参加者数 西谷地区のみなさま 56人
- 4 説明概要

- エネルギーの高騰が進んでおり、海外からの化石燃料の輸入から、地域の資源を活用し、エネルギーの地産地消を進めることが求められる。
- 西谷地区で行う事業では、県有環境林の整備を行い、間伐材をチップ化し、ボイラー燃料として活用することを2年間の実証として計画。（国の補助金を活用）
- 森林の伐採、チップ化、コンテナへの積み込みは県有環境林内で実施。地域内でのトラック（4トン車）の運行は、1週間に数回程度。
- 木質チップは、必要に応じて神戸市北区の土場でチップを乾燥して客先に搬送。
- その他、造園業者から排出される剪定枝もチップ原料として受入れ予定。剪定枝のチップ化を行う土場はこれから検討。できれば西谷地区内で場所を確保したい。
- 当初の森林の伐採区域についてもこれから検討。改めて、該当自治会にご相談させていただきたい。

事業スキーム(案)



5 主な質疑

市民) 山の保水力が弱くなっている。広葉樹のほか針葉樹も切って森林の更新を考えてほしい。椎茸の原木として有効な木もあり、有効活用させていただきたい。
兵庫県) 針葉樹も含めて事業を進めていく。椎茸の原木など、チップ化以外についても視野に入れて検討する。

市民) 県有環境林以外の森林についても検討できないか。

兵庫県) まずは2年間実証を行うが、採算性なども踏まえて、民有林も含めて今後の展開を検討する。場所についてはご意見をいただきたい。

市民) 機械的に西谷の山が切られて山が寂しくなることはないか。

兵庫県) この事業は、森林を整備しながら、資源をうまく使うことが趣旨。森林を大きく切り開いて丸裸にすることは考えておらず、概ね3割ぐらいを間伐するイメージで検討中。切ってはいけない木などがあれば、是非教えてほしい。

市民) 地域とやりとりする機会はあるのか。

兵庫県) これから現地調査し、伐採する山に該当する自治会には改めて説明したい。

市民) 伐採に関わりたい人もいる。雇用が生まれるなどのメリットはあるか。

兵庫県) 実際に伐採がうまく進んでいった時に関わりたいという声があれば考えたい。積極的に関わりたいということがあれば、別途お話をお受けしたい。

市民) メリットとして、木質バイオマスが利用される施設ができれば、資源が循環していることが分かりやすくてよい。頑張ってもらいたい。

兵庫県) 広葉樹のチップ化は全国的にも例がなく、まずは2年間の実証をするが、将来的にシンボリックな施設ができればという意見も頭に置いて進めたい。

市民) 作業道をサイクリングやクロスカントリーの道に活用できないか。

兵庫県) 将来、作業道の活用も考えられる。本事業では作業道の幅が狭いが、作業が終わった場所の遊歩道などへの有効活用については考えていきたい。

市民) 土砂災害について対策をお願いしたい。また、シカ、イノシシなどの獣害について今以上に増えないか。

事業者) 大きな木を伐採し、小さい木を残すことで森林の適切な更新を図る。獣害については、猟友会などの協力を得て捕獲頭数を増やしたい。山に人が入ることで減っていくことも期待したい。

市民) 県の部長が地域の説明会に出席することは減多にない。県の熱意がわかった。

市民) 補助金頼みの事業では継続性がない。2年先のことはどう考えているのか。

兵庫県) 20年ぐらいのローテーションで伐採し、里山が長期的に循環できる姿に持っていきたい。事業として成り立つようにしっかり取り組んでいきたい。

市民) 事業の進捗は地域に報告していただけるのか。

兵庫県) 少なくとも毎年報告させていただきたい。